

## 7. 統合実習

# 統合実習

## 1. 実習目的

看護専門職者として、自己の課題を明確にし、自己研鑽する能力を養うとともに、看護チームの一員として、実務に即した看護実践を主体的に取り組み、看護実践能力の向上をめざす。

## 2. 実習目標

- (1) 複数対象者に必要な看護について優先順位を決定し、実践できる。
- (2) リスク（危険因子）を予測・回避し安全な看護を実践できる。
- (3) 看護チームの一員であることを自覚し、病棟スタッフと能動的にコミュニケーションを図り、報告・連絡・相談ができる。
- (4) チーム医療におけるマネジメント（病棟管理・看護管理）の実際について理解できる。
- (5) 看護専門職者として自己の問題・課題を明確にする。

## 3. 実習単位と時期

| 実習科目名 | 単位数 | 時間数                     | 実習時期  |
|-------|-----|-------------------------|-------|
| 統合実習  | 3単位 | 120時間（14日） 学内4日間+臨地10日間 | 4年次前期 |

## 4. 達成目標

| 実習目標                                     | 達成目標   |
|--|--|
| (1) 複数対象者に必要な看護について優先順位を決定し、実践できる。       | ①必要な情報収集を適宜行うことができる。<br>②自分ができる状況にあるか確認し、優先順位が判断できる。   |
| (2) リスク（危険因子）を予測・回避し安全な看護を実践できる。         | ①患者の安全上のリスク何であるのか理解できる。<br>②患者の状況に応じて、安全に配慮した看護が提供できる。   |
| (3) 看護チームの一員であることを自覚し、自らの判断・行動に対する責任を持つ。 | ①病棟スタッフと能動的にコミュニケーションを図り、報告・連絡・相談ができる。<br>②実施した看護を評価し適切に報告することができる。<br>③メンバーの一員として、主体的に行動することができる。 |
| (4) チーム医療におけるマネジメントの実際を理解することができる。       | ①病院・病棟におけるマネジメントとは何かとその重要性について述べる<br>ことができる。<br>②チーム医療における協働の実際について理解することができる。                     |
| (5) 看護専門職者として自己の問題・課題を明確にする。             | ①カンファレンスで自己の問題と課題を明確にし、進捗状況が確認できる。<br>②実践を通して看護専門職者としての展望について考察し、プレゼンテーションすることができる。                |

5. 実習展開（例） ※実習施設により臨地の学習内容日程は前後する。

1コマ（90分）は1.5時間

| 月日              | 時間     | 学習内容  | 学習課題   | 記録用紙                    |
|-----------------|--------|---|--|-------------------------|
| 学内<br>実習<br>1日目 | 1時間目   | ・統合実習の目的・目標・実習の概要説明   | 実習目的・目標の理解、全体のイメージ化  |                         |
|                 | 2時間目   | ・領域別実習を通しての自己の課題の明確化  | 1. プレゼンテーション資料作成<br>これまでの領域別実習全体を振り返り<br>①自分の問題はなにか<br>②なぜ自分にとってそれが問題なのか<br>③それを解決するための課題(解決策)<br>はなにかを具体的場面を通して説明し、課題達成を統合実習の目標とする。 | プレゼンテーション資料             |
|                 | 3・4時間目 | ・学内演習<br>シミュレーション課題の提示<br>末梢点滴中の患者の寝衣交換、褥瘡予防のポジショニングなど、臨地実習で必要な技術のケアプランの作成と練習 | 1. 自分たちの基礎技術を振り返る<br>2. シミュレーション課題から、患者の状況の理解とケアプランが作成できる<br>3. プランに沿った必要な技術の練習  | 自己の技術ノートなど              |
| 2日目             | 1時間目   | ・プレゼンテーションの準備   | 1. プレゼンテーション準備<br>チーム毎にプレゼンテーション資料作成<br>2. 役割分担を決定する。<br>3. 各自の資料の読解   |                         |
|                 | 2時間目   | ・プレゼンテーション及びカンファレンス   | 1. チームメンバーの課題の理解と質疑・応答<br>2. 自己の課題の追加・修正（臨地初日にプレゼンテーションする資料の準備）  | レポート                    |
|                 | 3・4時間目 | ・学内演習<br>末梢点滴中の患者の寝衣交換、褥瘡予防のポジショニングなど、臨地実習で必要な技術の練習                           | 1. 作成したケアプランを元に、技術演習ができる<br>2. その他の必要な技術の練習と標準的なケアプランの確認   | 自己の技術ノートなど              |
| 臨地<br>実習<br>1日目 | 9時間    | (複数患者) 受け持ち実習<br>(1回目) 同意確認 情報収集、受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開<br>*初日カンファレンス            | 1. 受け持ち患者(複数)の情報整理と全体像の把握及び行われている看護の理解<br>2. 自己の問題・課題のプレゼンテーション(レポートを持参)   | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3 |
| 2日目             | 9時間    | (複数患者) 受け持ち実習<br>(2回目) 同意確認 情報収集、受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開                          | 1. 患者理解(身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断(優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント  | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3 |

|     |     |   |  |                               |
|-----|-----|---|--|-------------------------------|
| 3日目 | 9時間 | (複数患者) 受け持ち実習<br>(3回目) 情報収集、受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開                 | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助                                      | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3       |
| 4日目 | 9時間 | (複数患者) 受け持ち実習<br>(4回目) 受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開                      | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助                                      | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3       |
| 5日目 | 9時間 | (複数患者) 受け持ち実習<br>(5回目) 受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開<br><b>*中間カンファレンス</b> | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助<br>4. 中間での自己の課題に対する到達状況と課題および具体策の明確化 | 統合-1-2<br>統合-2、3<br>カンファレンス資料 |
| 6日目 | 9時間 | 複数患者) 受け持ち実習<br>(6回目) 受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開                       | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助                                      | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3       |
| 7日目 | 9時間 | 看護管理実習<br>病棟看護師長業務などの見学実習<br>麻薬などの薬剤の管理                         | マネジメントの理解<br>麻薬やその他の管理上注意が必要な薬剤の取り扱いについて学ぶ   | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3<br>4  |
| 8日目 | 9時間 | 時間差実習<br>スタッフ同行実習 (時間差の時間帯までは複数患者受け持ち実習)                        | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助<br>4. 昼間の時間帯以外の患者の理解(夜間帯)            | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3<br>4  |
| 9日目 | 9時間 | (複数患者) 受け持ち実習<br>(7回目) 受け持ち看護師と共に複数患者の看護展開                      | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニーズの把握)・状況判断 (優先順位・緊急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセスメント<br>3. 患者の状態に応じた援助                                      | 統合-1-1<br>1-2<br>統合-2、3       |

|                  |                              |  |   |  |
|------------------|------------------------------|--|---|--|
| 10 日目            | 9 時間                         | (複数患者) 受け持ち実習<br>(AM or PM のみ) 受け持ち<br>看護師と共に複数患者の看護<br>展開<br>*最終カンファレンス   | 1. 患者理解 (身体状況の把握・ニード<br>の把握)・状況判断 (優先順位・緊<br>急性)<br>2. 実践上の安全性・安楽性のアセス<br>メント<br>3. 患者の状態に応じた援助<br>4. 自己の課題の達成状況と今後の展望  | 統合 - 1 - 1<br>1 - 2<br>統合 - 2、3<br>5、6 |
| 学内<br>実習<br>3 日目 | 1・2<br>時間目<br><br>3・4<br>時間目 | 実習全体のまとめ<br>LTD-NP 過程プラン・予習<br><br>LTD-NP 過程プラン・ミー<br>ティング<br>全体カンファレンス準備<br>15:30 ~ 課題の達成のまとめ<br>最終カンファレンスで頂いた<br>助言を元に、課題の達成度を<br>まとめる | 1. LTD シート作成<br><br>2. LTD-NP 過程プラン・ミーティング<br>3. ミーティングのふりかえり<br>4. チーム毎の全体カンファレンス<br>テーマ決定・討議 (~ 15:30)<br>5. 課題達成のまとめ | LTD シート<br>統合 - 6                      |
| 学内<br>実習<br>4 日目 | 1 時間目<br><br>2・3<br>時間目      | 課題の達成のまとめ<br>プレゼンテーション資料にま<br>とめる<br>発表する<br>講評  | 1. 課題達成のプレゼンテーション準備<br>2. 役割分担を決定する<br>3. 発表<br>4. プレゼンテーション資料の提出   | 統合 - 6<br>プレゼン<br>テーション                |

### 実習上の留意点

- (1) 実習展開は① (複数患者) 受け持ち実習を主に、②医療チーム・地域連携実習、③チームメンバー実習、④時間差実習、⑤看護管理実習を組み合わせで行う。具体的な日程は指導者 (臨地) の指定に従う。
- (2) 時間差実習は夜間帯 (19 時まで) の時間の実習である。開始時間、終了時間は正規の時間と異なり、施設により異なることもあるため各自確認する。
- (3) 初日・中間・最終カンファレンスは、指導者の参加を依頼する。日々は学生のみでミーティングを行い必要時指導者や担当教員の助言を仰ぐ。
- (4) 臨地実習後の全体カンファレンスを充実させるために、LTD-NP 過程プラン・ミーティング終了後、各チームのテーマを共有しておく。
- (5) 実践を通して自己の問題を念頭に置き、課題の達成度を日々振り返り、最終日のまとめに活かす。

## 6. 学内実習の目的

この実習は領域別実習の総まとめという位置づけで、看護チームの一員として実務に即した看護実践に取り組み、看護実践能力の向上を目指す目的で設定している。また領域実習を通して自己の問題とそれを解決するための課題をみつけ、実践の中で課題に取り組み、将来の看護専門職者としての展望を述べることも重要な目的である。

実習内容は、複数受け持ち、カンファレンス (チーム・多職種・地域連携・NST など) への参加、検査・処置への同行、時間差実習、看護管理など多岐にわたる。様々な状況や場を体験し、看護チームの一員であると自覚して実習することを期待している。さらにその体験を通して、自己の問題抽出と課題達成

を目指すこと、また実習終了後卒業までの期間にも、看護専門職者となる上での課題達成に取り組むことが期待されている。専門職者としての自分自身の視点・知識・技術・態度を丁寧にかえりながら、課題を明らかにし過程達成に向かうよう実習前と後に学内実習を設定している。

|        | 目標  |
|--------|---|
| 学内実習 1 | (1) 統合実習の目的・目標・展開内容を理解し、統合実習の到達むけて課題に取り組むことができる。<br>(2) 領域別実習を振り返り、自己の問題・課題を明確にできる。<br>(3) 自己の問題・課題のプレゼンテーションに向けて準備できる。<br>(4) シミュレーション課題にそくした必要な技術のケアプランの作成と練習ができる |
| 学内実習 2 | (1) 自己の問題・課題のプレゼンテーションの発表ができる。<br>(2) 自己の問題・課題をチームメンバーと互いに課題を共有できる。<br>(3) シミュレーション課題にそくした必要な技術のケアプランの作成と練習ができる。  |
| 学内実習 3 | (1) 各自、最終プレゼンテーションを振り返り、LTD-NP 過程プラン・ミーティング資料を作成できる。<br>(2) LTD-NP 過程プラン・ミーティングに沿って、ミーティングができる。<br>(3) 各自、ミーティングのふりかえりができる。<br>(4) チーム毎に全体カンファレンスのテーマを決定できる。        |
| 学内実習 4 | (1) 看護実践を通して課題達成の状況を明確にできる。<br>(2) 問題・課題・今後の展望をまとめ、プレゼンテーションが作成できる。<br>(3) プレゼンテーションを通して、実習の振り返りができる。   |

## 7) 臨地でのカンファレンスにおけるプレゼンテーションについて

|           | 内容   |
|-----------|--|
| 初回カンファレンス | (1) 統合実習における自己の問題・課題について発表する。(事前のレポートは、当日の朝出席者に資料として配布する)                                |
| 中間カンファレンス | (1) 受け持ち患者の看護の展開状況について<br>(2) 初回カンファレンスにおける自己の課題の達成状況と、後半の実習の課題について発表する。(実習 6 日前後を目安にする) |
| 最終カンファレンス | (1) 受け持ち患者の看護総括<br>(2) 自己の問題と課題の達成状況と今後の展望   |

◆カンファレンスは学生が主体的に実施する。

## 8) 実習評価

- (1) 実習評価は評価表に基づいて 5 段階評価（秀、優、良、可、不可）とする。
- (2) 自己評価は学生自身が実施し、ボールペンで記載する。
- (3) 他者評価は実習指導者と協議の上、教員が行う。

## 9) 実習記録・その他の記録

| 実習記録                    | 配布枚数 | 備考     |
|-------------------------|------|--------|
| ①統合-1-1 情報収集            | 4枚   |        |
| ②統合-1-2 全体像             | 2枚   |        |
| ③統合-2 熱型表               | 4枚   |        |
| ④統合-3 日々の目標・評価          | 9枚   |        |
| ⑤統合-4 管理・時差実習           | 3枚   | PC 使用可 |
| ⑥統合-5 看護の要約             | 2枚   |        |
| ⑦統合-6 課題のまとめ            | 1枚   | PC 使用可 |
| ⑧ LTD-NP 過程プランミーティング用資料 | 1枚   | PC 使用可 |

統合-1-1 情報収集  
情報用紙(

月

学籍番号

学生氏名

関連図(

月

日)

学籍番号

学生氏名

(専)京都中央看護保健大学校 看護保健学科

全体像把握

(専)京都中央看護保健大学校 看護保健学科



統一4  
学籍番号  
学生氏名( )

|       |  |  |       |
|-------|--|--|-------|
| 本日の目標 |  |  | 自己の課題 |
|       |  |  |       |

(専)京都中央看護保健大学校 看護保健学科

統一5  
看護の要約

|      |      |
|------|------|
| 学籍番号 | 学生氏名 |
|      |      |

(専)京都中央看護保健大学校 看護保健学科

1. 実習中の体験を通して発見したこと、納得したこと
2. 臨床で役立った専門的知識・技術
3. 臨床場面で足りないと感じた専門的知識・技術
4. 指導者・教員の言動で印象に残ったこと
5. 患者・家族の反応で印象に残ったこと
6. 実習で学べたこと
7. 話し合いを通して感じたこと・今後の自己の課題  
(カンファレンス後に記入する)

参考文献

| 学籍番号  | 学生氏名 | 自己の課題 | 自己の課題 | 実習を通しての実践 | 指導者・教員からの助言 | 課題の達成状況と今後の展望 |
|---|------|-------|-------|-----------|-------------|---------------|
| <p>統合-6<br/>課題のまとめ</p> <p>自己の問題</p> <p>自己の課題</p> <p>実習を通しての実践</p> <p>指導者・教員からの助言</p> <p>課題の達成状況と今後の展望</p> |      |       |       |           |             |               |

(専)京都中央看護保健大学校 看護保健学科

